

こじか荘かわら版 秋



健やかで楽しい日々が、
末永く続きますように……

敬老会

「令和三年敬老会」

「令和三年敬老会」

「令和三年敬老会」

県内では二度目となる緊急事態宣言が発令される中、今年も「利用者の皆様へ、敬意と感謝の気持ちをお届けする敬老会」が開催されました。長い長い自衛生活で、行事を開催するにも様々な制限が掛かる中、少しでもご利用者の皆様に喜んでいただくために、知恵と工夫を凝らし、今できることを精一杯行いました。ご利用者の皆様にとっても、職員にとっても、とても楽しく、笑顔の溢れる会になりました。是非ご覧ください。

職員紹介インタビュー

いつも誰かが支えてくれた…
「人との縁がわたしの宝!!」

ヨロシクお原真い 至文します。

事務員 富貞真由美

連載2回目の「ヨロシクお願いいたします。」は、こじか荘入職2年目の富貞事務員に、これまでの経歴の中で、人間関係の大切さやありがたさを感じた思いを語っていただきました。

— これまでの経歴や職歴を教えてください

富貞 はい。高校は地元で当時設置されたばかりの「福祉科」に入学しました。ただし在学中は福祉の専門教科よりもパソコンの授業に夢中になりました。「早打ちタイピング」などが得意で卒業後も情報処理系の専門学校へ進学しました。又、高校入学時から専門学校を卒業するまでの5年間、地元に入店がある大手スーパーでアルバイトをしていました。

— こちらのアルバイトが社会生活の第一歩となりますか？

富貞 はい。元々自分では接客は苦手とて思っていたのですが、周りの方々がとても親切で、毎日楽しくアルバイトが出来ました。結局、就職活動時に店長さんと周りの方々の勧めで、その大手スーパーに就職することになりました。

— それでは新社会人生活のスタートは、慣れ親しんだ職場と業務だったんですか？

富貞 いえ。赴任先が広島市内の店舗になり、お客さんの数も多いし、取り扱う商品の数も全然違いました。又、世間一般にパソコンを扱える人材が少ない時代だったので、情報系の専門学校卒業の経歴から、事務部門へ異動となりました。

— 異動による戸惑いはありましたか？

富貞 それが全然ありませんでした。部門が変わっても周りの方々に恵まれて、楽しく仕事が出来ました。特に店内で使用するPOPやチラシの作成が楽しかったです。こちらの大手スーパーではアルバイト時代を含め、15年お世話になりました。

— このあと何か転機がありましたか？

富貞 はい。30歳の頃、「自分には他にもできることがあるはず!!」「今までと違ったことがしてみたい!!」という思いが強くなり、転職を決意。長年慣れ親しんだ職場を離れ、新しい仕事にチャレンジしました。ですが最初はなかなか思うように行かず、人生で初めて「挫折」も味わいました。

富貞 この経験から心機一転、地元へ戻り、花の観光農園の仕事に就きました。この農園の仕事から、また楽しい日々を取り戻すことができました。農園では受付、接客、畑仕事と重労働も多かったです。ここでこそ「人」を支えられました。又、土に触れることもすごくストレスの解消になりました。今はあまりできませんが、畑仕事、土いじりは無心になれます。

— そうですか。こうしてみると人間関係、周りの人の支えって大きいですね。それと現職に辿りつくまでには、また紆余曲折があったのでしょうか？

富貞 はい。実父の病気がキッカケで福祉関係の仕事や施設での調理の仕事に興味を持ちました。実際に高齢者施設で調理の仕事にも就きました。初めての仕事でも諸先輩方がとても親切にいただき、すぐに慣れることができました。そんな矢先、最初の大手スーパーの知合いからの縁があり、こじか荘に入職しました。右も左もわからない状態からのスタートで何度もくじけそうになりましたが、そんな時、しっかりと話を聞いてくれる上司や先輩が居てくれて、とても心が救われました。

— やはり良好な人間関係は財産ですね

富貞 本当に就職してから今日までいつもそう思います。「辛い時に相談ができる。」「話を聞いてもらえる。」「ことほど自分の力になることは他にないです。そのような方々に出会い、囲まれて過ごしてこられてとても幸せです。今はコロナ禍でなかなか会えないですが、コロナが落ち着いたら、又、みんなと会って食事がしたいです。

これまでの人間関係が良好であると感じ取れるのは、日頃から「感謝の気持ち」があればこそではないでしょうか。迷いや戸惑いの中で差し伸べられる手はさぞ心強かつことでしょう。又、「とても幸せです。」と言いつけるめぐり逢わせを少しうらやましく感じました。近くで見守ってくれていた方々も富貞さんの思いを聞けば、きっと嬉しいでしょうね。

ボランティア

7月
23日 鯉谷美紀枝 様 (散髪)
24日 やすらぎ隊 様 (窓ふき)
8月
27日 鯉谷美紀枝 様 (散髪)
28日 やすらぎ隊 様 (建物周辺の草取り、庭木の剪定 他)
9月
24日 鯉谷美紀枝 様 (散髪)

お願い

新型コロナウイルス感染者数が減少し、次第に落ち着きを取り戻しつつありますが、もうしばらくは密接し面会を継続いたします。ご理解いただきますよう、よろしくお願い致します。

編集後記

東京オリンピック・パラリンピックや大リーグ大谷翔平の活躍で沸いていた夏が終わり、風雲急を告げるように首相の交代がありました。広島県選出の岸田さんが新首相に就任され、地元の期待は高まるばかりです。岸田新首相は見て、「私の特技は人の話を聞くことです。」と述べられています。我々は職業柄、常々「聞く力」の重要性や難しさを痛感しています。それだけにリーダーシップや発信力よりも「聞く力」を強調される岸田首相にはとても好感が持てますし、期待も膨らみます。

特養

厳しい暑さと土砂降りの雨、オリンピックにパラリンピックと、慌ただしく夏が駆け抜けていきました。暑さも和らぎ、虫の音の間こえる季節となりましたが、ご利用者の皆様は、お元気で秋を迎えられました。
八月は、夏祭りや手作りおやつで、夏を感じていただき、九月は「敬老会」を開催し、「長寿と健康をお祝いました。ご利用者に季節を感じて頂き、明日への活力と健康で楽しみのある生活を送って頂きたいと思っております。



こじか荘のひとコマ



通所

コロナ禍で、様々な制限を余儀なくされる中、こじか荘では感染対策を行いながら行事を行っています。夏祭りでは、職員の手裏剣やゲームなどを行い、喫茶「かすみ草」では、お好きな飲み物・デザートを選び、選択食ではちり寿司、館かけ焼き飯を選んで食べられ、楽しいひと時を過ごしていただけたのではないかと思います。これからも工夫しながら行事を企画し、笑顔で、楽しく過ごして頂ける時間をご提供できたいと思っております。

お月見会



わっしょい! わっしょい!

百歳!!

誕生日会



夏祭り



夏祭り



選択食

Welcome

ボランティアのご紹介



生きがいドライブ



手作りおやつ



7月と8月にボランティア「やすらぎ隊」の皆様が来荘され、窓ふきや建物周辺の草取りなどをしていただきました。暑い中、ありがとうございました。

喫茶 かすみ草

記念品

毎年、敬老会では「ご利用者の皆様に、記念品」を贈呈しています。特養では今年度は、肌掛け布団を贈りました。布団の厚さ、軽さがちょうど今の季節に合い、とても喜ばれました。



物故者追悼の集い